

2016 年 3 月期第 3 四半期決算説明会質疑応答（要約）

Q. 第 3 四半期売上の成長率が第 2 四半期より落ちている理由についてどのように分析しているか？

A. 6 月に発売開始したクロピドグレルが苦戦したことが要因の一つ。

Q. 新製品の売上高が弱かった背景？

A. 新製品全般が弱かったのではなく 6 月に発売したクロピドグレルについてオーソライズドジェネリックの影響を受け思ったより伸ばせなかった。ただし、10 月にオーソライズドジェネリックと同じ適応症になったことから今後巻き返したい。12 月に発売したラロキシフェンについては想定以上の売上高を計上している。

Q. 今期の計画に対する第 3 四半期までの進捗率が売上高で 74.5%である一方で営業利益の進捗率が 87.9%と高いのは販管費が期ずれしていることで説明がつくのか。

A. 販管費の未消化が影響している。

Q. 第 2 四半期までと比較して第 3 四半期において変動費率の改善が進んでいる理由は？

A. これまで取り組んできている原材料価格の引き下げ努力が第 3 四半期で実を結んできている。

Q. 販管費のうちこういった費目で想定と違い期ずれしているのか。また、研究開発費については、第 2 四半期と比較して費用の消化が進んでいる要因？

A. 人件費、広告宣伝費、研究開発費については想定通り消化。それ以外で中期経営計画の中で基盤整備として予算を組んでいたもののうち計画に対し遅れている項目がある。研究開発費については開発センターを立ち上げたこと等によるもの。

Q. 今の工場の稼働率はどうか？

A. 計画より大きな変化はない。

Q. オーソライズドジェネリックに対するスタンスは？

A. 自社のジェネリックにこだわる姿勢は変わらないが全く検討しないということはない。

以 上

* 当日の説明会資料は以下の HP アドレスから見るができます。

・ 平成 28 年 3 月期第 3 四半期決算説明資料

(http://v4.eir-parts.net/v4Contents/View.aspx?template=ir_material_for_fiscal_ym&sid=22167&code=4555)

・ 平成 28 年 3 月期第 3 四半期決算説明音声

(<http://www.irwebcasting.com/20160209/11/d0a86c0752/mov/main/index.html>)